

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	穴吹デザイン専門学校
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
工業専門	建築学科	夜・通信	12 単位	7 単位	
	インテリアデザイン学科	夜・通信	12 単位	7 単位	
	商品企画デザイン学科	夜・通信	9 単位	7 単位	
	グラフィックデザイン学科	夜・通信	8 単位	7 単位	
	マンガ・アニメーション学科	夜・通信	10 単位	7 単位	
	CG・ゲーム学科	夜・通信	8 単位	7 単位	
文化・教養専門	ネット動画クリエイター学科	夜・通信	7 単位	7 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://web.anabukih.ac.jp/info/information/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	穴吹デザイン専門学校
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://web.anabukih.ac.jp/info/information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	企業代表取締役	令和7年5月28日～令和9 年6月定時評議員会終結の 時	学校経営に関する 提言
非常勤	他法人役員	令和7年5月28日～令和9 年6月定時評議員会終結の 時	学校経営に関する 提言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	穴吹デザイン専門学校
設置者名	学校法人穴吹学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ① 9月～10月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、12月～1月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。 ② 2月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。 ③ 授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。	
授業計画書の公表方法	https://web.anabukih.ac.jp/info/information/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ① 授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。
- ② 成績評価は、期末試験のほか、出席率・課題・レポートを参考として総合的に評価する。
- ③ 評価基準はA, B, C, Dの4段階とし、A, B, Cを合格とする。
A (100～80 点)・B (79～70 点)・C (69～60 点)・D (59 点以下)とし、各科目で規定している出席率に満たない者は、当該科目の期末試験の受験資格を失い、D評価になる。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。
上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校のWebサイトで一般公開も行っている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://web.anabukih.ac.jp/info/information/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【建築学科】

- ・建築を多面的な視野で捉え、関連する分野との連携に長けた円滑なコミュニケーションができる。
- ・社会の変化から未来を汲み取り、専門的な技術力をベースに価値ある場所を提案できる。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

【インテリアデザイン学科】

- ・インテリアを多面的な視野で捉え、関連する分野との連携に長けた円滑なコミュニケーションができる。
- ・世の中の流れを敏感に察知し、人の暮らしにとって価値ある空間を提案できる。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

【商品企画デザイン学科】

- ・社会への分析的な眼差しで、編集的な視点から新しい価値を示す企画や商品を提案できる。
- ・造形やモノづくりのプロセスを学んだ体験からプロデュース能力を兼ね備えている。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

【グラフィックデザイン学科】

- ・ニーズを汲み取るコミュニケーション能力を備えている。
- ・社会の変化に柔軟に対応し、多様な媒体を視野にデザインの企画や表現が提案できる。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲がある。

【マンガ・アニメーション学科】

- ・クライアントや取引先と仕事上のコミュニケーションが出来る能力を備えている。
- ・マンガ家・アニメーター・イラストレーター・作家として要求に応える技術を身に付けている。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

【CG・ゲーム学科】

- ・クリエイターとして主体的・継続的に創作への可能性を追求する姿勢を身に付けている。
- ・コンピュータグラフィックスを使ったコンテンツ制作の基本技術を備えている。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

【ネット動画クリエイター学科】

- ・クリエイターとして主体的・継続的に創作への可能性を追求できる。
- ・動画編集(撮影・シナリオ・PR 手法を含む)を活用したコンテンツを制作できる。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

卒業の認定について

校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。

卒業条件

- ① 卒業制作を行っていること。
- ② 成績評価がすべて C 以上であること。
- ③ 原則として年間総授業時間数の 80%以上出席していること。

上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。

卒業判定会議

通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつ D 評価の者は卒業判定会議にかかるものとする。

上記について Web サイトで公開している。

卒業判定会議は、議事録により適切な実施の確認を行っている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://web.anabukih.ac.jp/info/information/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	穴吹デザイン専門学校
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://web.anabukih.ac.jp/info/information/
収支計算書又は損益計算書	https://web.anabukih.ac.jp/info/information/
財産目録	https://web.anabukih.ac.jp/info/information/
事業報告書	https://web.anabukih.ac.jp/info/information/
監事による監査報告（書）	https://web.anabukih.ac.jp/info/information/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	建築学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	6 8 単位	3 6 単位	3 7 単位			
			7 3 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		24 人	1 人	1 人	22 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

9 月～1 0 月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、1 2 月～1 月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。

2 月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3 月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4 月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。

授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。

成績評価の基準・方法

（概要）

学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。

学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（1 0 0 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。

上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校の Web サイトで一般公開も行っている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業までに身につける能力を定めた基本方針

- ・ 建築を多面的な視野で捉え、関連する分野との連携に長けた円滑なコミュニケーションができる。
- ・ 社会の変化から未来を汲み取り、専門的な技術力をベースに価値ある場所を提案できる。
- ・ 積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

卒業の認定について

校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。

卒業条件

- ① 卒業制作を行っていること。
- ② 成績評価がすべて C 以上であること。
- ③ 原則として年間総授業時間数の 80%以上出席していること。

上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。

卒業判定会議

通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつ D 評価の者は卒業判定会議にかか
るものとする。

上記について電子版学生手帳および Web サイトで公開している。

卒業判定会議は、議事録により適切な実施の確認を行っている。

学修支援等

(概要)

心身ともに健康な学生生活を送ることができるよう学生相談室を設け、カウンセラーによる
こころの相談を受け付けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）	13 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）
（主な就職、業界等） （株）池下設計、（株）ウッドジョイ、（株）縁、ヤマネホールディングス（株）、（株）西建設計 他 住宅・建設業界、インテリア販売業界 他			
（就職指導内容） 1 年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2 年次は、チューターと連携した進路指導・サポートを実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 建築 CAD 検定 2 級 合格率 46.1% AFT 色彩検定 UC 級 合格率 30.7%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	1 人	3.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよびカウンセラーなどによる面談を実施し指導履歴を作成して情報を共有している。 また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	インテリアデザイン学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	6 5 単位	2 8 単位	5 1 単位			
			7 9 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		53 人	0 人	1 人	22 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 9 月～1 0 月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、1 2 月～1 月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。 2 月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3 月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4 月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。 授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。 学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（1 0 0 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。 上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校の Web サイトで一般公開も行っている。	

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業までに身につける能力を定めた基本方針

- ・インテリアを多面的な視野で捉え、関連する分野との連携に長けた円滑コミュニケーションができる。
- ・世の中の流れを敏感に察知し、人の暮らしにとって価値ある空間を提案できる。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

卒業の認定について

校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。

卒業条件

- ① 卒業制作を行っていること。
- ② 成績評価がすべて C 以上であること。
- ③ 原則として年間総授業時間数の 80%以上出席していること。

上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。

卒業判定会議

通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつ D 評価の者は卒業判定会議にかかるものとする。

上記について電子版学生手帳および Web サイトで公開している。

卒業判定会議は、議事録により適切な実施の確認を行っている。

学修支援等

(概要)

心身ともに健康な学生生活を送ることができるよう学生相談室を設け、カウンセラーによるこころの相談を受け付けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）	25 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）
（主な就職、業界等） ㈱ウッドワン、㈱栗本ホールディングス、㈱ウインクマーク、㈱大之木ダイモ、㈱HGC ホールディングス 他 雑貨家具販売・店舗設計・住宅・建設業界 等			
（就職指導内容） 1 年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2 年次は、チューターと連携した進路指導・サポートを実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 建築 CAD 検定 2 級 合格率 48.0% 色彩検定 UC 級 合格率 44.0%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53 人	2 人	3.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよびカウンセラーなどによる面談を実施し指導履歴を作成して情報を共有している。 また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	商品企画デザイン学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	6 2 単位	2 5 単位	4 0 単位			
			6 5 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		27 人	1 人	2 人	8 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

9 月～1 0 月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、1 2 月～1 月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。

2 月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3 月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4 月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。

授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。

成績評価の基準・方法

（概要）

学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。

学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（1 0 0 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。

上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校の Web サイトで一般公開も行っている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業までに身につける能力を定めた基本方針

- ・ 社会への分析的な眼差しで、編集的な視点から新しい価値を示す企画や商品を提案できる。
- ・ 造形やモノづくりのプロセスを学んだ体験からプロデュース能力を兼ね備えている。
- ・ 積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

卒業の認定について

校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。

卒業条件

- ① 卒業制作を行っていること。
- ② 成績評価がすべて C 以上であること。
- ③ 原則として年間総授業時間数の 80%以上出席していること。

上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。

卒業判定会議

通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつ D 評価の者は卒業判定会議にかかるものとする。

上記について電子版学生手帳および Web サイトで公開している。

卒業判定会議は、議事録により適切な実施の確認を行っている。

学修支援等

(概要)

心身ともに健康な学生生活を送ることができるよう学生相談室を設け、カウンセラーによるこころの相談を受け付けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）	5 人 （ 83.3%）	1 人 （ 16.7%）
（主な就職、業界等） ジオレックス(株)、(株)サンポークリエイト、(有)エヌ 他 サイン・ディスプレイ業界 他			
（就職指導内容） 1 年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2 年次は、チューターと連携した進路指導・サポートを実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 文部科学省後援色彩検定 UC 級 合格率 33.3%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよびカウンセラーなどによる面談を実施し指導履歴を作成して情報を共有している。 また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	グラフィックデザイン学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	6 3 単位	1 4 単位	8 1 単位			
			9 5 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		79 人	0 人	2 人	17 人	19 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 9 月～1 0 月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、1 2 月～1 月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。 2 月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3 月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4 月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。 授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。 学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（1 0 0 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。 上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校の Web サイトで一般公開も行っている。	

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業までに身につける能力を定めた基本方針

- ・ニーズを汲み取るコミュニケーション能力を備えている。
- ・社会の変化に柔軟に対応し、多様な媒体を視野にデザインの企画や表現が提案できる。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

卒業の認定について

校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。

卒業条件

- ① 卒業制作を行っていること。
- ② 成績評価がすべて C 以上であること。
- ③ 原則として年間総授業時間数の 80%以上出席していること。

上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。

卒業判定会議

通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつ D 評価の者は卒業判定会議にかか
るものとする。

上記について電子版学生手帳および Web サイトで公開している。

卒業判定会議は、議事録により適切な実施の確認を行っている。

学修支援等

(概要)

心身ともに健康な学生生活を送ることができるよう学生相談室を設け、カウンセラーによる
こころの相談を受け付けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
55 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）	50 人 （ 90.9%）	5 人 （ 9.1%）
（主な就職、業界等） ㈱アスカネット、㈱TSS プロダクション、㈱ワールドインテック、広島放送㈱ 他 写真加工・印刷・グラフィックデザイン業界 他			
（就職指導内容） 1 年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2 年次は、チューターと連携した進路指導・サポートを実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator クリエイター能力認定試験 合格率 80.0%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
96 人	1 人	1.0%
（中途退学の主な理由） 心身の健康上の理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよびカウンセラーなどによる面談を実施し指導履歴を作成して情報を共有している。 また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	マンガ・アニメーション学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	6 2 単位	1 2 単位	9 2 単位	1 6 単位		
			1 2 0 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		69 人	0 人	2 人	12 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 9 月～1 0 月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、1 2 月～1 月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。 2 月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3 月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4 月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。 授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。 学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（1 0 0 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。 上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校の Web サイトで一般公開も行っている。	

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業までに身につける能力を定めた基本方針

- ・クライアントや取引先と仕事上のコミュニケーションが出来る能力を備えている。
- ・マンガ家・アニメーター・イラストレーター・作家として要求に応える技術を身に付けている。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

卒業の認定について

校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。

卒業条件

- ① 卒業制作を行っていること。
 - ② 成績評価がすべて C 以上であること。
 - ③ 原則として年間総授業時間数の 80%以上出席していること。
- 上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。

卒業判定会議

通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつ D 評価の者は卒業判定会議にかか
るものとする。

上記について電子版学生手帳および Web サイトで公開している。

卒業判定会議は、議事録により適切な実施の確認を行っている。

学修支援等

(概要)

心身ともに健康な学生生活を送ることができるよう学生相談室を設け、カウンセラーによる
こころの相談を受け付けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）	28 人 （ 90.3%）	3 人 （ 9.7%）
（主な就職、業界等） (株)アウトソーシング、(株)コントレール、(株)ドライブ、(株)ダイキエンジニアリング 他 製造・小売業界 他			
（就職指導内容） 1 年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2 年次は、チューターと連携した進路指導・サポートを実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator クリエイター能力認定試験 合格率 80.6%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68 人	4 人	5.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更、心身の健康上の理由、学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよびカウンセラーなどによる面談を実施し指導履歴を作成して情報を共有している。 また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	C G ・ ゲーム学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	6 2 単位	1 2 単位	6 2 単位	3 1 単位		
			1 0 5 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		48 人	1 人	3 人	6 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

9 月～1 0 月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、1 2 月～1 月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。

2 月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3 月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4 月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。

授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。

成績評価の基準・方法

（概要）

学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。

学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（1 0 0 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。

上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校の Web サイトで一般公開も行っている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業までに身につける能力を定めた基本方針

- ・クリエイターとして主体的・継続的に創作への可能性を追求する姿勢を身に付けている。
- ・コンピュータグラフィックスを使ったコンテンツ制作の基本技術を備えている。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

卒業の認定について

校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。

卒業条件

- ① 卒業制作を行っていること。
- ② 成績評価がすべて C 以上であること。
- ③ 原則として年間総授業時間数の 80%以上出席していること。

上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。

卒業判定会議

通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつ D 評価の者は卒業判定会議にかかるものとする。

上記について電子版学生手帳および Web サイトで公開している。

卒業判定会議は、議事録により適切な実施の確認を行っている。

学修支援等

(概要)

心身ともに健康な学生生活を送ることができるよう学生相談室を設け、カウンセラーによるこころの相談を受け付けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）	23 人 （ 95.8%）	1 人 （ 4.2%）
（主な就職、業界等） (株)ダイキエンジニアリング、(株)ワールドインテック、(株)アウトソーシング、(株)ワールドインテック、 (株)ディークリエイト、(株)アスカネット、(株)マーキュリー 他 Mac オペレーター、CAD オペレーター、映像編集、販売 他			
（就職指導内容） 1 年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2 年次は、チューターと連携した進路指導・サポートを実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） i B u t 合格率 95.8%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	1 人	1.8%
（中途退学の主な理由） 心身の健康上の理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよびカウンセラーなどによる面談を実施し指導履歴を作成して情報を共有している。 また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	ネット動画クリエイター学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	6 4 単位	1 5 単位	4 9 単位			
			6 4 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		24 人	0 人	1 人	6 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 9 月～1 0 月頃に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催してカリキュラムの方針を定め、1 2 月～1 月頃に学科ごとにカリキュラムを作成する。 2 月頃に授業科目ごとに科目担当教員が来年度のシラバスを作成し、3 月に学科会議により内容を協議のうえ最終決定し、4 月に学生に配布するとともに学校ホームページで公表している。 授業の概要、授業終了時の到達目標、使用する教科書教材、成績の評価基準と評価率、準備学習の指示等を明記している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、演習の成果、履修状況を総合的に勘案して評価し、履修を認定している。 学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（1 0 0 点満点）し、合計した上でその平均点を算出する。 上記のことを電子版学生手帳に明記し学生に公開している。また、学校の Web サイトで一般公開も行っている。	

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業までに身につける能力を定めた基本方針

- ・クリエイターとして主体的・継続的に創作への可能性を追求できる。
- ・動画編集(撮影・シナリオ・PR 手法を含む)を活用したコンテンツを制作できる。
- ・積極的かつ謙虚に自分の個性を組織や社会の中で活かす意欲を持っている。

卒業の認定について

校長の行う卒業の判定は学年末におこなう卒業・進級判定会議にて、試験、平素の成績、出席日数等により行う。

卒業条件

- ① 卒業制作を行っていること。
 - ② 成績評価がすべて C 以上であること。
 - ③ 原則として年間総授業時間数の 80%以上出席していること。
- 上記の条件をすべて満たした者は校長が卒業を認定する。

卒業判定会議

通年の評価において再試・追課題・指定当校の後なおかつ D 評価の者は卒業判定会議にかかるものとする。

上記について電子版学生手帳および Web サイトで公開している。

卒業判定会議は、議事録により適切な実施の確認を行っている。

学修支援等

(概要)

心身ともに健康な学生生活を送ることができるよう学生相談室を設け、カウンセラーによるこころの相談を受け付けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）	7 人 （ 77.8%）	2 人 （ 22.2%）
（主な就職、業界等） （有）さくら組（株）、ダイキエンジニアリング、M-Axis 他 映像編集、CAD オペレーター、Web デザイナー 他			
（就職指導内容） 1 年次から就職キャリアセンター職員による就職支援授業を実施。 2 年次は、チューターと連携した進路指導・サポートを実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） i B u t 合格率 88.8%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	4 人	18.2%
（中途退学の主な理由） 進路変更、心身の健康上の理由、学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） アンケート実施により個々の問題点を把握し、チューターおよびカウンセラーなどによる面談を実施し指導履歴を作成して情報を共有している。 また、経済的事情等や進路変更で就業が必要な場合はガイダンスや支援機会の提供などを実施している。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
建築学科	160,000 円	1,060,000 円	122,000 円	各学科の「その他の 費用」は実習・行事 費
インテリアデザイン学科	160,000 円	1,060,000 円	122,000 円	
商品企画デザイン学科	160,000 円	1,060,000 円	115,000 円	
グラフィックデザイン学科	160,000 円	1,060,000 円	128,000 円	
マンガ・アニメーション学科	160,000 円	1,060,000 円	120,000 円	
C G ・ゲーム学科	160,000 円	1,060,000 円	110,000 円	
ネット動画クリエイター学科	160,000 円	1,060,000 円	116,000 円	
修学支援（任意記載事項）				
学費免除の奨学金制度、高資格・検定取得者への奨学金制度、遠方からの入学生に対する 奨学金制度、親族入学優遇制度にて修学支援を実施				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://web.anabukih.ac.jp/info/information/
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）
学校関係者評価の基本方針
・主な評価項目
(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果
(5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務
(9) 法令等の遵守
・評価委員会の構成
委員の定数 5 人（当該学校の教職員を除く）
委員の選出区分（地域、学校、企業等、卒業生、保護者）
・評価結果の活用方法
評価結果を反映した、職業に必要な実践的かつ専門的な能力がより修得できる改善計画を立案し、PDCA サイクルを回し続ける。
各年度の 2 月、校運営会議等で翌年度の実施案を策定する。

第三者評価の委員		
所属	任期	種別
地区社会福祉協議会会長	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日	地域
高等学校長	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日	学校
企業 代表取締役	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日	企業等
同窓会会長	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日	卒業生
保護者会会長	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日	保護者
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://web.anabukih.ac.jp/info/information/		
(備考)		
第三者評価は未実施。実施時期は未定。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://web.anabukih.ac.jp/info/information/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H134310000372
学校名（〇〇大学 等）	穴吹デザイン専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人穴吹学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		114人（46）人	114人（42）人	118人（47）人
内 訳	第Ⅰ区分	35人	40人	
	（うち多子世帯）	—	—	
	第Ⅱ区分	19人	14人	
	（うち多子世帯）	—	—	
	第Ⅲ区分	—	14人	
	（うち多子世帯）	—	—	
	第Ⅳ区分（理工農）	17人	16人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	—	12人	
	区分外（多子世帯）	19人	18人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				118人（47）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	—
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	—	—
計	人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	11人	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	—	0人
計	人	11人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。